

Windmolen



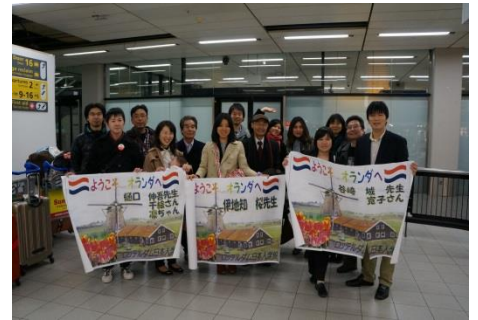
ロッテルダム日本人学校 谷崎 城

派遣決定から赴任まで

12月中旬に校長先生より派遣先が伝えられました。オランダに行くというイメージは全く頭の中にはありませんでしたが、英語がかなり通じる国なのでホッとしたことを覚えています。(そもそも英語も話せないのですが…) 1月のオリセン研修で、一緒に派遣される仲間と対面し、それ以降互いに連絡を取り合いながら引越しの準備を慌ただしく進めていました。



4月6日11時10分、成田から飛び立ち、パリ乗り継ぎを含めて約14時間後、スキポール空港に到着。空港では、日本人学校の先生方に熱烈なお出迎えをしていただきました。自宅に着くと、ケアの先生の奥様が夕食として用意してくださったものがテーブルの上に置いてあり、おいしくいただきました。その後は疲れと眠たさがどっと押し寄せ、すぐベッドに入りました。



環境

ロッテルダムは南ホラント州(オランダという国名はホラントの名に由来)にあるオランダ第2の都市で、人口約60万の国際都市です。ヨーロッパ最大の港ユーロポートがありますが、市の中心部は内陸に位置しています。市内には湖や森が散在しており、サイクリングやジョギングの魅力的なコースとなっています。私の自宅は、NS(オランダ鉄道)やトラムの駅から近く、買い物にはとても便利です。学校は閑静な高級住宅街の一角にあります。自宅から3kmほどなので、たまに自転車通勤をしています。



JSRの特色

ロッテルダム日本人学校(=JSR)の特色の一つとして挙げられるのは、敷地や施設を共有しているアメリカンスクールをはじめとした近隣校との様々な交流活動です。言葉や文化の壁を越えて理解し合い、国際人としての感覚を身につけてくれればと願っています。

また、小中合わせて30人弱の児童・生徒しかおらず、学年に関係なく仲がとても良いです。今年度は、『みんなでひとつの輪になろう～はばたけ!色とりどりの鳥～』というスローガンのもと、全員でJSRの伝統である和太鼓演奏をオランダ合同運動会の場で発表しました。



運動会での和太鼓演奏